



動詞の意志形「～よう」

この課では「食べよう」「歌おう」「行こう」など、話し手の意志を表す動詞の形(意志形)を学びます。

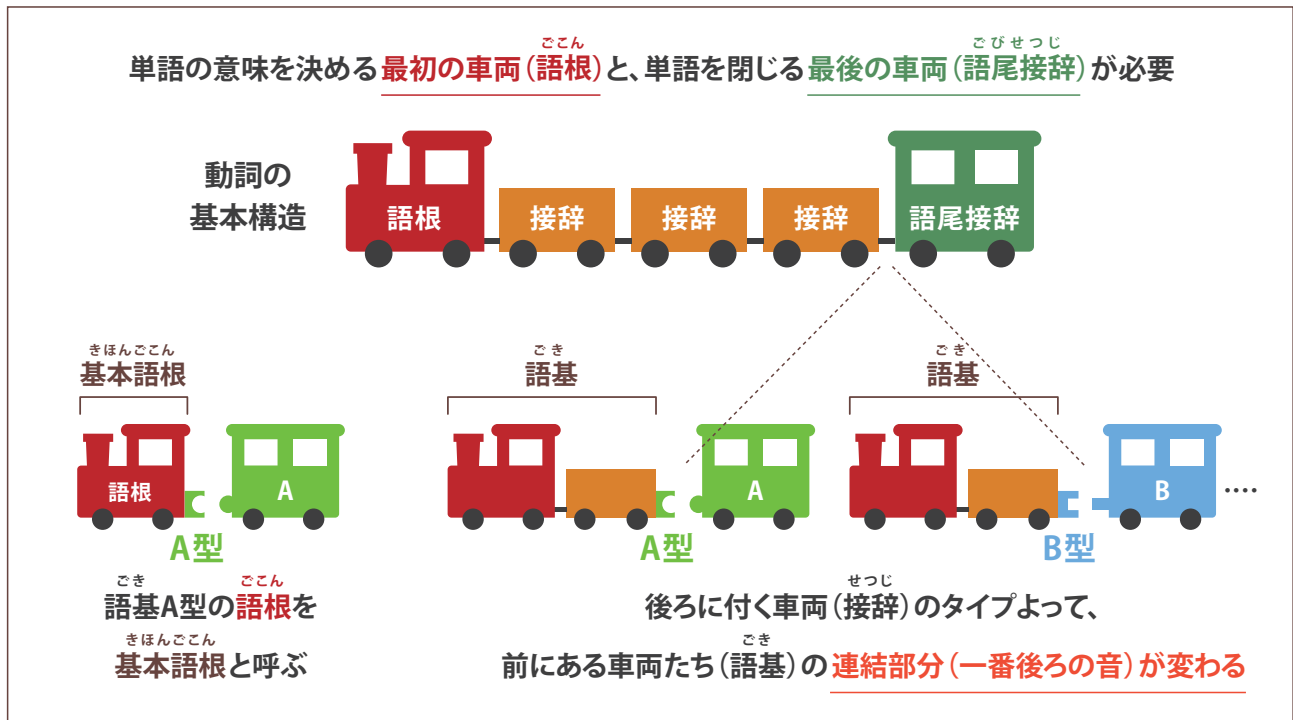
ポイント

1. 動詞の意志形「～よう」は、語基(A型)に、意志の語尾接辞 $-(r)aa^1$ を付ける。
2. 母音で終わる語基には、-raa が付き、子音で終わる語基には -aa が付く。

1 動詞の基本構造 (3-5「動詞の基本構造」参照)

動詞を列車にして説明します。動詞は、単語の意味を決める機関車(語根)に、様々な意味を持つ、付属の車両(接辞)がついて作られます。列車が走るためには、最初の機関車(語根)と、単語を閉じられる、最後の車両(語尾接辞)が必要です。

ある車両(接辞)の前にある車両全体を、その接辞に対する「語基」と呼びます²。後ろに付く車両(接辞)のタイプによって、前にある車両たち(語基)の連結部分(一番後ろの音)が変わります。このように、変化する語基のタイプには、**A型(基本形)**、**B型**、**C型**の3種類があります。語基A型の語根を「基本語根」と呼びます。



1 - は接辞のマークです。

2 語根に直接、語尾接辞が接続する場合には、語基=語根になります。2以降の説明は、すべて語基=語根ですので、語基と語根を読みかえても大丈夫です。

2 意志形

意志の接辞(-raa)は、^{ごき}語基A型に接続します。語基が母音で終わる場合には -raa を、語基が子音で終わる場合には -aa を付けます。

例えば「呼ぶ」という動詞は、^{きほんごこん}基本語根(語基A)の **abi**³ (母音終わり)に意志の接辞 ^{せつじ}-raa を付けて **abiraa**「呼ぼう」となります。「待つ」という動詞は、^{きほんごこん}基本語根(語基A)の **mat** (子音終わり)に意志の接辞 ^{せつじ}-aa を付けて **mataa**「待とう」となります。

	^{きほんごこん} 基本語根(語基A)		意志形
母音終わり	abi 「呼ぶ」	→	abi-raa 「呼ぼう」
	kuri 「くれる・あげる」	→	kuri-raa 「あげよう」
子音終わり	hak 「書く」	→	hak-aa 「書こう」
	mat 「待つ」	→	mat-aa 「待とう」

2 発音してみよう

意志形は、動詞の中でも一番シンプルな形を持った活用形の1つです。^{かつようけい}意志形と一緒に、^{いっしょ}様々な動詞の^{きほんごこん}基本語根も、少しずつ覚えていきましょう。

abi-raa 呼ぶ -意志 「呼ぼう」	nas-aa 産む -意志 「産もう」	sin-aa 死ぬ -意志 「死のう」	hak-aa 書く -意志 「書こう」
mat-aa 待つ -意志 「待とう」	uig-aa 泳ぐ -意志 「泳ごう」	kam-aa 食べる -意志 「食べよう」	asib-aa 遊ぶ -意志 「遊ぼう」

^{ごこん}3 語根だけの形を、ななめ文字で表します。^{ごこん}語根だけでは単語は成り立ちません。

練習問題

(1)-(7) はそれぞれの動詞の^{きほんごこん}基本語根です。

次の動詞の意志形を予想して書いてみましょう。

(1) *nibu* 「ねむる」 → () 「ねむろう」

(2) *furus* 「殺す」 → () 「殺そう」

(3) *ak* 「歩く」 → () 「歩こう」

(4) *tat* 「立つ」 → () 「立とう」

(5) *fuug* 「(船を)こぐ」 → () 「(船を)こごう」

(6) *num* 「飲む」 → () 「飲もう」

(7) *tub* 「飛ぶ」 → () 「飛ぼう」
